

# 商業学ぶ県内の高校生 学習の成果を発表

【別府】商業を学ぶ県内の高校生が日頃の学習の成果を発表する「商業教育フェア2022」が15日、別府市のピーコンプラザであった。県教委の主催で、12校895人が参加（オンライン含む）。11グループに分かれ、72人が発表した。

し、成果や課題、今後の展望を発表した。

県教委やハイパーネットワーク社会研究所(大分市)が実施した「高校生によるインバウンド(訪日客)向け観光ツアー企画」に参加した生徒らは、インバウンドを別府に呼び込むためのアイデアを提案した。

テーマは「見て聴いて話して創る」。開会式では実行委員の生徒8人が「イベントの在り方や企画内容について、一から話し合ってきた。協力をお願いします」などとあいさつ。生徒らは高校での取り組みを紹介



真は「実習を通じて接客が楽しいと感じ、進路が定



「お客さんとの話が楽しく、人見返った」と高校での学びを振り返った。(横田杏成)



発表する生徒ら

大分合同新聞 2022年12月30日 (金) 朝刊 10面

